

## 2010年東京九華会総会・懇親会報告

東京九華会総会・懇親会を2月20日(土)に椿山荘(東京・目白、旧山縣有朋公庭園)で開催致しました。ここでは、会の内容を多少の裏話も込めながら紹介します。



### 総会・懇親会

・総会(司会:芥川孝さん 34年卒)

午後2時から開会

来賓の松浦正人防府市長、長谷川信明防府高等学校校長、脇正典九華会会長、関本光彦関西九華会会長ならびに、特別会員織田村佳之さまを紹介。

長谷川校長より、高校の近況報告、特に、春のセンバツ「21世紀枠」の候補に上がっており、出場が期待されたにもかかわらず、残念ながら補欠選出となった様子をリアルにお話し頂きました。在校生の頑張りが伝わって元気の素になりました。

引き続き、松浦防府市長より、昨夏の災害からの復興状況を報告頂きました。

私共が過ごした頃は、大きな台風や地震もなく暮らしやすい街とだけ思っていただけに、驚き、悲しみ、そして復興の話に思わず胸をなでおろす気持ちが致しました。



引き続き、議事に入り、夏川和也東京九華会会長から業務報告、三木為世委員、岩田龍夫監査委員より会計報告、会計監査報告があり、拍手にて承認頂きました。



会規約に従い、今年より顧問を置くことになり、就任された、松野浩二さん、山本一元さん、伊地知昭子さん、山根基世さんの紹介がありました。

## 2. 講話

ヘルシエイジング協会 山田明夫会長から、よりよき歳の取り方について講話を頂きました。

## 3. 特別講演会

「大阪府橋下知事の下での1年間奮闘記」

元大阪府副知事、現厚生労働省大臣官房審議官 三輪和夫さん

マスコミに、いろいろ取り上げられている橋下知事に事務方として仕えた時の様子を、分析的にかつユーモア交えた表現で、講演頂きました。「挑発」「言葉」「見せ場作り」「判りやすい内容」といった強力な発信力、確信犯的マスコミ操縦法、メール好き、家族を大事にする等々、報道からは伺い知れぬ貴重な話を伺うことができました。

また、民主党政権になって政治主導となった霞ヶ関の様子的一端も紹介頂きました。



#### 4 . 展示の部、出展者の紹介

佐々木朝登画伯 今年夏、東京渋谷・東急本店で個展を開催  
大橋佑朋さん 書家、ルルサス防府にギャラリー工桂を開く。  
Carre' Moji で新境地開拓中。

岡村興世さんと中川精次さんは、写真作品を出展頂きました。



・懇親会 （司会：角 成明さん、木原裕子さん 50年卒）  
午後4時から、協正典九華会会長の乾杯の音頭で、開宴。



今年から、会場を椿山荘とし、さらに着席方式に変更したことが、効を奏し、ゆっくり歓談、食事が出来ると好評でした。また、ステージもあるために、アトラクションにも注目して頂きました。

アトラクション1の「いきなり防府弁コンテスト」(進行：村田徳さん、秋本博子さん 50年卒)には、3組の方に登場して頂き、標準語を防府ことばで話して頂きました。3組ともに熱演で、森

川信夫審査委員長(49年卒、現防府図書館長)から講評を頂きました。ここで、森川委員長より、アドリブで、『司会者の表現には間違いがある』との指摘。一同『なんだろう?』と、耳を傾けると『司会者は終電という言葉を使っているが、防府には、その言い方はない。電車であろうと自動車であろうと、すべて自動車です。「汽車がなくなる」からといういい方が正しい。』とコメントがあり、『確かにそうだ!』と会場一同納得しました。



アトラクション2では、防府より花柳鶴千榮師匠をお招きして、「防府おどり」の紹介と実演をお目に掛けました。昭和43年から始まった「防府おどり」ですので、それ以前に防府を出られた方は、ご存じない方も多いため、改めて紹介しました。

花柳師匠には、前日から上京して頂き、文京シビックホールで、幹事有志が練習致しました。以前より、師匠に振付ご指導を頂いていた、50年卒4人の方(大橋桂子さん、杉本幸さん、藤永節子さん、山根美智子さん)の他、幹事有志と一緒に、ステージでおどりを披露しました。花柳師匠のおどりは、やはりプロの技で、所作の隅々まで心のこもったすばらしいものでした。



最後に、花柳師匠に、会場の皆さんへの振付ご指導です。来賓の皆様他、多くの方々が、ご参加頂き、初めての防府おどりに挑戦してみました。花柳師匠のご指導がとてもお上手であったので、会場が一体となって、盛り上がりました。



引き続き、アトラクション3の「福引抽選会」(進行:三浦卓さん、有川俊江さん、清水英生さん 50年卒)に入りました。抽選には、関西九華会関本光彦会長と、参加者で一番若い板村華子さん、桃子さんご姉妹にお願いしました。



防府菓子組合からご恵贈頂いた、ほうふ外郎他の銘菓、白銀詰め合わせなどの名産品、その他、先輩各位から寄贈頂いたものを景品とさせていただきました。

「故郷の味」として以下の協賛各位よりご寄贈いただきました。改めて記してお礼申し上げます。

しょうが湯	(有)ツルシマ	原田 昌一様
ほうふ外郎	(有)ほうふ外郎本舗	宇野 好一様
いちじくケーキ	三協製菓	中谷 久志様
銘菓「国廳」	紫雲荘	村田 清 様
黒柏	しばさき製菓	柴崎 文元様
志ほみ羹	双月堂	山本 幸一様
生いろいろ	数井製菓(株)	数井 敏行様
白銀詰合せ	(株)白銀工場	杉本 恭助様
ゆずぼん酢しょうゆ 「ぼんぼん山」	光浦醸造工業(株)	光浦 健太郎様
天神鱧セット KIRIN一杯の贅沢 FDスープ	協和発酵キリン(株)	池田成彦様

(以 上)

最後に幹事の引継ぎ挨拶、校歌斉唱と進め、東京九華会副会長藤田三保子さんによる中締め德音頭で、お開きとなりました。



幹事として、行きとどかなかった点多いと存じますが、昨年同様の280名近くのご参加を頂き、また、ご支援で、無事に会を終了できましたことを御礼申し上げます。 来年以降も、多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

新会場となった椿山荘のスタッフのプロとしてのサポート、アドバイスのお陰で、滞りなく進行、終了させることが出来ました。末筆ながら御礼申し上げます。

以下、幹事の裏話です。

### 1. テーマ 「故郷 防府 再発見」

昨年4月から本格的活動を開始、最初は手探り状態ながら、私共の開催の会は、「手作り」「参加」「実質的」なものにしようとの意思統一が実行委員会の中に生まれました。

その意思のなかで、テーマを決めました。

会報でも、「柏木体温計」を取り上げることが決まり、テーマに即したものとなりました。 実行委員会を重ねる中で、昨夏の水害の被害の報道があり、故郷に寄せる思いを一層強くしたことも事実です。

### 2. 特別講演会

50年卒同期の三輪和夫さんが、大阪府より、東京、霞ヶ関に帰って来られたので、マスコミで有名になった橋下知事の様子を語ってもらおうと、実行委員会に提案。

その他の方も、候補に挙がりましたが、34年卒の方のご同意も頂き、同氏にお願いすることになりました。ご本人は、「欠席裁判で決定」とのコメントもありましたが、快くお引き受け頂きました。

### 3. アトラクション

#### (1) 防府おどり

50卒の実行委員会で、「何をしようかいう？」と話し合い、防府のイメージは何だろうかと、ブレンストーミング。そこで出てきたのが、自衛隊、佐波川、防府おどりでした。防府おどりは、50年卒の面々は大学生の夏休みに、「防府総おどり大会」に自主参加し、「親公認の夜遊び」を楽しんだ思い出がありました。

会報委員会（桑名陽三実行委員、34年卒：宮木美光さん、小苺米喜久子さん 50年卒：関本憲二さん、木原裕子さん）で、50年卒関本憲二さんが話に出してみたところ、34年卒のお二方が、あまり「防府おどり」をご存知なく、「それは何か？面白い」と逆に興味を持って頂きました。

最初は、自分たちだけで踊る予定でしたが、素人だけで大丈夫かと、実行委員内でも懸念の声が上がリ、同期の者が躍起になって、映像がないかどうか、あちこち訪ね歩きました。昨年10月終わりのある夜、50年卒防府市役所勤務の浅井孝久さんから、電話があり、防府市役所、自衛隊その他の事業所で、振付ご指導をしておられる「花柳鶴千榮師匠」という方がいらっしゃるという紹介がありました。11月末に、実行委員が師匠を訪問し、上京の上、会での振付ご指導をお願いしたところ、快諾して頂きました。

#### (2) 防府弁コンテスト

当初は、防府のクイズを出してみようとかアイデアがいろいろでしたが、50年卒秋本博子さんの「防府弁コンテスト」に落ち着きました。

ちょうど、「マイマイ新子と千年の魔法」が、封切られ、「防府ことば」に、みなさんが懐かしさを持たれたことも良い効果がありました。

また、映画で、山口のことばの監修をされた森川信夫防府図書館長を呼んでこようと50年組で意見が出され、同期の大橋さん・秋本さんを通じて、御出席をお願いしたところ、快諾を頂きました。

### ( 3 ) 防府の銘菓・名産品の数々

50年卒角成明さんが、防府商工会議所の原田明さんに働きかけ、原田明さんが、山口県菓子組合の宇野好一会長他の皆様に、お願いして頂き、防府の銘菓の数々を寄贈いただきました。また、白銀も株式会社白銀工場の杉本社長より、寄贈頂きました。

故郷を思い起こすよいきっかけとなったと思います。

### ( 4 ) 映像・写真の数々

(株)ほうふ日報、河村孝さん(Taka21 主宰)、防府市観光振興課、防府市観光協会、その他の皆さまに、デジタル写真を提供頂きました。会場で、スライドとして映写することができました。

## 4 . 合同実行委員会

夏川会長、岩田、三木、桑名実行委員のご出席のもと、9回にわたり34年組と50年組の合同実行委員会を開催しました。特に、34年組のみなさんは、重枝孝岳さん、小嶋笙子さんを中心に、いつも15～6人のご参加を頂きました。多くの参加者を頂いたことが委員会のスムーズな運営につながりました。



以上

(文責 山崎哲也)